

## 研修カリキュラム

### 1.カリキュラム

科目(細目)	具体的内容
<b>1.職務の理解 6時間</b>	
(1)多様なサービスの理解 2.5時間	介護保険サービス(居宅、施設) 介護保険外サービス
(2)介護職の仕事内容や 働く現場の理解 3.5時間	居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容
<b>2.介護における尊厳の保持・自立支援 9時間</b>	
(1)人権と尊厳を支える介護 6時間	人権と尊厳の保持、ICF、QOL、ノーマライゼーション、虐待防止 身体拘束禁止、個人の権利を守る制度の概要
(2)自立に向けた介護 3時間	自立支援 介護予防
<b>3.介護の基本 6時間</b>	
(1)介護職の役割、専門性と 多職種との連携	介護環境の特徴の理解、介護の専門性、介護に関わる職種
(2)介護職の職業倫理	職業倫理(専門職の倫理の意義、介護の倫理、介護職としての 社会的責任、プライバシーの保護・尊重
(3)介護における安全の確保と リスクマネジメント	介護における安全の確保、事故予防、安全対策、感染対策
(4)介護職の安全	介護職の心身の健康管理
<b>4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間</b>	
(1)介護保険制度 3時間	介護保険制度創設の背景及び目的、動向 仕組みの基礎的理解、制度を支える財源、組織、団体の機能と役割
(2)医療との連携とリハビリテーション 3時間	医行為と介護、訪問看護、施設における看護と介護の役割・連携、 リハビリテーションの理念
(3)障害者自立支援制度および その他制度 3時間	障害者福祉制度の理念、障害者自立支援制度の仕組み 個人の権利を守る制度の概要
<b>5.介護におけるコミュニケーション技術 6時間</b>	
(1)介護におけるコミュニケーション	意義、目的、役割、技法、利用者・家族のとコミュニケーションの実際 利用者の状況、状態に応じたコミュニケーション技術の実際
(2)介護におけるチームの コミュニケーション	記録における情報の共有化、報告、コミュニケーションを促す環境
<b>6.老化の理解 6時間</b>	
(1)老化に伴うこころとからだの 変化と日常	老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響
(2)高齢者と健康	高齢者の疾病と生活上の留意点 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点

7.認知症の理解 6時間	
(1) 認知症を取り巻く環境	認知症ケアの理念
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理
(3) 認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	認知症の人の生活傷害、心理・行動の特徴 認知症の利用者への対応
(4) 家族への支援	認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減
8.障害の理解 3時間	
(1) 障害の基礎的理解	障害の基礎的理解、障害者福祉の基本理念
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	身体障害、知的障害、精神障害、その他の心身の機能障害
(3) 家族の心理、かかり支援の理解	障害の理解・障害の受容支援、介護負担の軽減
9.こととからだのしくみと生活支援技術 75時間	
(1) 介護の基本的な考え方 3時間	理論に基づく介護、法的根拠に基づく介護
(2) 介護に関することとからだのしくみの基礎的理解 4時間	学習と記憶の基礎知識、感情と意欲の基礎知識、自己概念と生きがい、老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因、こととからだの持ち方が行動に与える影響、こととからだの状態がこととからだに与える影響
(3) 介護に関することとからだのしくみの基礎的理解 6時間	人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用、中枢神経系と体性神経に関する基礎知識自律神経と内部器官に関する基礎知識
(4) 生活と家事 6.5時間	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援
(5) 快適な居住環境整備と介護 3時間	快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法
(6) 整容に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護 6.5時間	整容に関する基礎知識、整容の支援技術
(7) 移動・移乗に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護 6.5時間	移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとっての負担の少ない移動・移乗を阻害することとからだの要因の理解と支援方法
(8) 食事に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護 6.5時間	食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とこととからだのしくみ、楽しい食事を阻害することとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援
(9) 入浴、清潔保持に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護 6.5時間	入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害することとからだの要因の理解と支援方法
(10) 排泄に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護 6.5時間	排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害することとからだの要因の理解と支援方法

(11)睡眠に関したところとからだのしくみと自立にむけた介護 4時間	睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法
(12)死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護 4時間	終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援
(13)介護過程の基礎的理解 6時間	介護過程の目的・意義・展開、介護過程とチームアプローチ
(14)総合生活支援技術演習 6時間	事例による展開
<b>10.振り返り 4時間</b>	
(1)振り返り	研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶべきこと 根拠に基づく介護についての要点
(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	継続的に学ぶべきこと、研修修了後における継続的な研修について